2024 年 11 月 5 日

報道関係各位

エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社

H2O が地域共創の輪を広げる初の試み
資源循環シンポジウム 2024「Tsugu.」
――子どもたちの未来につなぐ循環を――

エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社（本社：大阪市北区　代表取締役社長：荒木直也　以下、H2O）は、地域の生活者・事業者・行政が連携する資源循環の実践事例を共有し、実現に向けたアクションを考えるシンポジウムを初めて開催します。「地域とともに実現する資源循環」をテーマに、生活者に身近な衣食住での取り組み事例を、産学官の多彩なプレーヤーによる講演やトークセッションで紹介。知見やノウハウの共有を通して、生活者の意識・行動の変容につながる取り組みのあり方を伝えるとともに、参加者のネットワーク形成を図ります。

名　称：資源循環シンポジウム 2024「Tsugu.」―子どもたちの未来につなぐ循環を―
日　時：2024 年 11 月 26 日（火）午後 1 時～5 時
場　所：阪急うめだホール（大阪市北区角田町 8 番 7 号 阪急うめだ本店 9 階）
主　催：エイチ・ツー・オー リテイリング会社
後　援：環境省
対象者：廃棄物削減、資源循環に向けた生活者や事業者との協働に興味・関心がある方
＊要予約　＊入場無料
〈ご予約・お問い合わせ先〉 ※報道関係者の方は、次ページのお問い合わせ先へご連絡くださいませ
エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社 経営企画室 サステナビリティ推進部
右記の二次元コードのご利用、または下記のメールアドレス宛てに、
お名前とご所属先、参加人数をご記入のうえお送りください。
sustainability@h2o-retailing.co.jp

プログラム：開会あいさつ（午後 1 時～1 時 20 分）

第 1 部（午後 1 時 20 分～3 時）「地域とともに実現する食品廃棄ゼロエリア構築」
- 基調講演「食品廃棄ゼロエリアモデル事業から見る地域で循環を実現する意義」
- 事例①生活者とともに取り組む（H2O グループの兵庫・川西エリアなどでの事例）
- 事例②事業者とともに取り組む（食品廃棄ゼロ京都プロジェクト）
- 食品廃棄ゼロエリアの総括

第 2 部(午後 3 時 30 分～5 時)「2025 年の資源循環へのチャレンジ@大阪」

・基調講演「資源循環を実現する公民連携に向けて」

・企業の垣根を超える衣料品回収プラットフォーム

・大阪・関西万博につながるみどりの資源循環

・ひとりひとりの行動変容へ

本件に関する報道関係者のお問い合わせ
エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社 メディアリレーション部 TEL 06-6367-3181

[参考]

【H2O グループのサステナビリティ経営】

H2Oグループは、「地域住民への生活モデルの提供を通して、地域社会になくてはならない存在であり続けること」を基本理念に掲げています。グループビジョンは「『楽しい』『うれしい』『おいしい』の価値創造を通じ、お客様の心を豊かにする暮らしの元気パートナー」です。

サステナビリティ経営の推進にあたっては、3つの重点テーマと2つの基本テーマをグループの重要課題(マテリアリティ)に位置づけています。

3つの重点テーマ	2つの基本テーマ
① 地域の「絆」を深める ② 地域の「子どもたち」を育む ③ 豊かな「地域の自然」を守り、引き継ぐ	④ お客様・ステークホルダーからの「信頼」に応える ⑤ 従業員の「働きがい」を高める

【H2O グループの資源循環の取り組みの一例】

◎食品廃棄物削減 「フードロスゼロチャレンジデイズ」

当社は 2022 年 7 月に兵庫・川西エリアで地域の産学官のパートナーと食品廃棄物の削減プロジェクトを立ち上げました。22 年度から 3 年連続で環境省の「食品廃棄ゼロエリア創出モデル事業」に採択されています。

家庭の生ごみをコンポストで堆肥化する「フードロスゼロチャレンジデイズ」は、24 年 7 月の第 6 回までにのべ 330 世帯 1,000 人が参加、1.3t の生ごみを堆肥に変え、多くの人の目に留まる花壇の整備などに役立てています。また、地域の方々がフードロスや食、暮らしについて楽しく考える「グッド！ネイバー！ミーティング！」や、家庭の持て余した食材を持ち寄り、即興で料理する「サルベージ・パーティ(サルパ)」などの地域交流イベントも実施しています。

地域の生活者とともに取り組むこのプロジェクトは宝塚市、大阪・梅田へエリアを拡大中です。

◎衣類回収 「oHOHo CYCLE PROJECT(オホホ サイクル プロジェクト)」

阪急阪神百貨店やエイチ・ツー・オー商業開発ではこれまで、一部店舗に「フクのツナギ箱」を設置するなど、衣類の回収に力を入れてきました。

さらに取り組みを強化するため、当社は環境省の「令和 6 年度使用済衣類回収のシステム構築に関するモデル実証事業」に採択されたことを受け、大阪府と吹田市、藤井寺市、前述の 2 社を含む賛同企業 9 社と「oHOHo CYCLE PROJECT(オホホ サイクル プロジェクト)“みんな微笑む『すてない』未来へ”」を開始しました。

24 年 10 月に第 1 弾として各社の商業施設で衣類回収を実施、大阪発の「サステナブルファッション・プラットフォーム」の構築を目指します。

◎森林資源の需要や関係人口の創出 「想うベンチ —いのちの循環—」プロジェクト

当社が大阪府との連携協定に基づく「大阪 森の循環促進プロジェクト」の一環で取り組む「想うベンチ —いのちの循環—」プロジェクトが、23 年 3 月に大阪・関西万博の運営参加特別プログラム「Co-Design Challenge(コ・デザインチャレンジ」に採択されました。万博会場に設置するベンチの製作やワークショップ、メディア運営などを実施しながら、大阪府内のさまざまな事業者や地域住民、林業のサプライチェーン全体を巻き込み、長期的な視野で大阪府内産木材需要や関係人口の創出を目指しています。



子どもたちの未来につなぐ循環を

資源循環シンポジウム2024 Tsugu.

本シンポジウムは環境省「令和６年度 食品廃棄ゼロエリア創出モデル事業等」に採択を受け、
「地域とともに実現する食品廃棄ゼロエリア2024プロジェクト」の一環として開催します。

2024.11.26 (火) 午後1時-5時

in 阪急うめだホール　※要予約　※入場無料

大阪市北区角田町8番7号　阪急うめだ本店9階

資源循環は、事業者や行政だけの課題ではなく、
生活者一人ひとりも日々の暮らしで少しずつ意識し、行動することが欠かせません。
このシンポジウムのテーマは「地域とともに実現する資源循環」。
多様なプレーヤーたちがどのように共創・協働の関係を築き、取り組んできたのか……
生活者と事業者、行政が、衣食住を横断して実践してきた資源循環の事例を、
講演やトークセッションを通してご紹介します。
地域とともに実現する資源循環について一緒に考えてみませんか？

主　　催：エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社
後　　援：環境省
対 象 者：廃棄物削減、資源循環に向けた生活者や事業者との協働に興味・関心がある方
プログラム：ごあいさつ（午後1時～1時20分）
第1部（午後1時20分～3時）「地域とともに実現する食品廃棄ゼロエリア構築」
第2部（午後3時30分～5時）「2025 年に向けたチャレンジ@大阪」
※くわしい内容は裏面をご参照ください

ご予約・お問い合わせ

エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社 経営企画室 サステナビリティ推進部
右記の二次元コードのご利用、または下記のメールアドレス宛てに、お名前と
ご所属先、参加人数をご記入のうえお送りください。
sustainability@h2o-retailing.co.jp

プログラム

開　会

13:00　**主催者あいさつ**

エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社 代表取締役社長　荒木 直也

来賓あいさつ

環境省 環境再生・資源循環局 次長　角倉 一郎氏

第1部　地域とともに実現する食品廃棄ゼロエリア構築

13:20　**「食品廃棄ゼロエリアモデル事業から見る地域で循環をつくる意義」**

東京農業大学 国際食糧情報学部 国際農業開発学科 農業環境科学研究室 准教授　入江 満美氏

13:40　食品廃棄ゼロエリアモデル事業❶

「地域とともに実現する食品廃棄ゼロエリア 2022～2024」

トークセッション　株式会社地球Labo代表取締役　上野 晴人氏
一般社団法人フードサルベージ 代表理事　平井 巧氏
フードロスゼロチャレンジデイズ参加者　山下 優子氏

講演①　宝塚市長　山﨑 晴恵氏
甲子園大学 栄養学部 食創造学科 准教授　松岡 大介氏

講演②　五月山動物園　園長　瀬島 幸三氏

14:30　食品廃棄ゼロエリアモデル事業❷

「食品廃棄ゼロ京都プロジェクト　食品ロスゼロ×食品リサイクル100%」

公益財団法人Save Earth Foundation 業務執行理事　百瀬 則子氏

14:50　**「食品廃棄ゼロエリアモデル事業の総括」**

環境省 環境再生・資源循環局 総務課 リサイクル推進室長補佐　村井 辰太朗氏

第2部　2025年に向けたチャレンジ@大阪

15:30　**「大阪府における公民連携の意義と拡がる共創活動」**

大阪府　財務部長（公民戦略連携デスク所管）　金森 佳津氏

15:45　**「大阪発 サステナブルファッション・プラットフォーム『oHOHoプロジェクト』」**

大阪府 環境農林水産部 循環型社会推進室 資源循環課　課長　吉永 篤史氏

16:00　**「みどりと共生する地域社会 循環型社会への取り組み」**

阪神園芸株式会社 専務取締役　植村 弘氏

16:15　**「大阪森の循環促進プロジェクト×大阪・関西万博『想うベンチプロジェクト』」**

一般財団法人大阪府みどり公社 森林整備・木材利用促進支援センター長　薬師寺 徹氏

16:30　**「脱炭素行動をポイントに変える『EXPOグリーンチャレンジ』」**

OSAKAゼロカーボン・スマートシティ・ファウンデーション 代表理事　田中 靖訓氏

16:40　**「CO2排出削減に取り組む商品・サービスを可視化『デカボスコア』」**

Earth hacks 代表取締役社長 CEO　関根 澄人氏

16:50　**クロージング**

叡啓大学 学長補佐 特任教授・神戸大学 名誉教授　石川 雅紀氏